



北野屋スポーツ
遠藤 泰裕
ENDOU YASUHIRO

1984年 柏崎市出身

スポーツ用品の総合商社として地元の人たちから親しまれている北野屋スポーツ。「北野屋」の創業は大正元年で、商売の始まりは江戸時代までさかのぼる。

北野屋スポーツの専務として各店舗を統括する遠藤泰裕さんは子どもの頃、祖母が運転する車に乗り、一緒に店舗や高校の売店を回っていたことを覚えている。学生時代は名字よりも「北野屋さん」や「北野屋の泰裕くん」と呼ばれることも多かったとほほ笑む。

高校受験をきっかけに、それまであたり前と思っていた家業について考え、「将来は自分が家業を引き継ごう」と決めた。大学では経済学部で学び、卒業後は栃木県足利市のスポーツ用品店で3年間の厳しい修業を経験した。面接の際、社長から「皆、途中で辞めてしまうけど、やる気はあるのか」と問われ、北野屋の顔をつぶすわけにはいかないと、覚悟を決めたと振り返る。

修業した店は商圈範囲も広く、インターネット販売が徐々に伸び始めていた頃。学校関係の外商や店舗販売も行っており、北野屋の業態とも近い存在だった。接客や修理、外回りといった基本的な業務だけでなく仕事の姿勢や心構えなど、さまざまなことを学ばせてもらったと泰裕さんは

感謝する。野球、サッカー、陸上、スイム等々、全ての売り場を順に担当し就業後は競技ごとに各メーカーが発行する分厚い用品カタログを何冊もリュックに入れて帰宅、商品の一つひとつを繰り返し勉強して翌朝売り場に戻すことを続けた。

3年間の修業を終えて柏崎に戻り半年ほど経った頃、前社長の父が、新潟市で野球に特化した店を始めることを決めた。泰裕さんはスタッフと共に大急ぎで準備に取り掛かり4か月後のオープンへとこぎつけた。「野球工房北野屋新潟店」は13年目を迎え、野球に特化した専門店として今では北野屋の大きな柱の一つとなっている。

現在、柏崎青年会議所のメンバーとしても活躍する泰裕さんは2年前、65周年の式典委員長を務め、歴代理事長のインタビューを企画。記念誌にまとめて一部をボイスメッセージとして残している。5年前に亡くなった前社長の父の声を聴いてみたいとの思いから発案した企画で、インタビューの中に祖父や父の存在を感じ、北野屋の息子だからこそ応じてもらえたと感じている。残念ながら父の話を聴くことは叶わないが、泰裕さんにとって歴代理事長らの貴重な経験や人生訓は今も大切な心の拠り所となっている。

北野屋は柏崎卓球連盟の事務局、泰裕さんは柏崎ソフトテニス連盟の副会長などを務め、卓球、ソフトテニス、軟式少年野球等で長年「北野屋杯」という冠大会を続けている。スポーツで地域貢献をしていくことは北野屋の理念。スポーツをする子どもたちが少なくなり学校の部活動も縮小される中、柏崎のスポーツを支えていくために新しいことに挑戦していきたいと話している。

お問い合わせ

北野屋スポーツ
本社 柏崎市東本町1-16-33
TEL 0257-23-2345
FAX 0257-24-7778
営業 10時～19時
休 水曜

◆北野屋上越店
(エルマール内) TEL 025-543-3372
◆野球工房北野屋
新潟店 TEL 025-256-8089
◆小千谷営業所 TEL 0258-82-7576



HP